

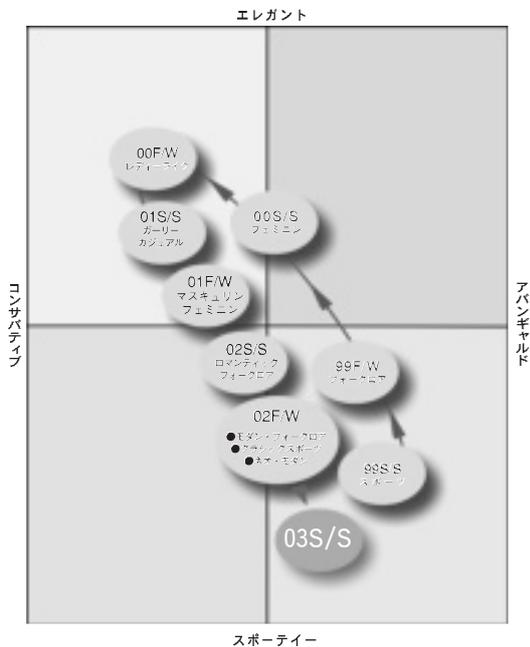
# 2003年春夏レディスファッション・トレンド

株式会社カネボウファッション研究所 中原 節 雄

## 1. ファッションイメージの変遷

1999年春夏から現在までのファッションの流れを振り返り、その流れのなかから2003年春夏に向けてのファッションの方向を予測した。

下の図は縦軸にエレガント⇔スポーティ、横軸にはコンサバティブ⇔アバンギャルドの対称軸を取ったマトリックス上に各シーズンをポジショニングしてファッションの流れがどのように変化しているか、そして2003年春夏に向かってどのような方向性を取っていくかを予測したものである。



1999年春夏には、スポーツイメージがかなり強く出たシーズンだった。ところがその後、ファッションの流れはエレガンス/コンサバティブ方向へと変化していく。この流れは、よりフェミニンでクラシックなイメージを加える方向への変化と言い換えることもできる。

この流れは、2000年秋冬シーズンにピークを迎え、このシーズンにはレディーライクなエレガンス・ファッションが台頭した。そしてファッションの方向は、このシーズンをターニングポイントに、それまでとは逆方向の、スポーティ/アバンギャルド方向へと向かい始める。言い換えれば、このシーズンを転換点として、ファッションの流れは、カジュアル度を増す方向へと変化し始めたのである。

現在はややカジュアル度を加えた、秋冬のマスキュリン/フェミニン感覚のファッションから、春夏のロマンティック・フォークロア感覚のファッションが主流になりつつある。

そして今後の方向性としては、よりスポーティー度、アバンギャルド度を加えて、2002年秋冬のモダン・フォークロア/クラシックスポーツ/ネオ・モダンのファッションムードを継続させながらも、よりモダンでスポーティーなイメージが拡大し、ナチュラルなムードとシンセティックなムードが共存するシーズンとなる。

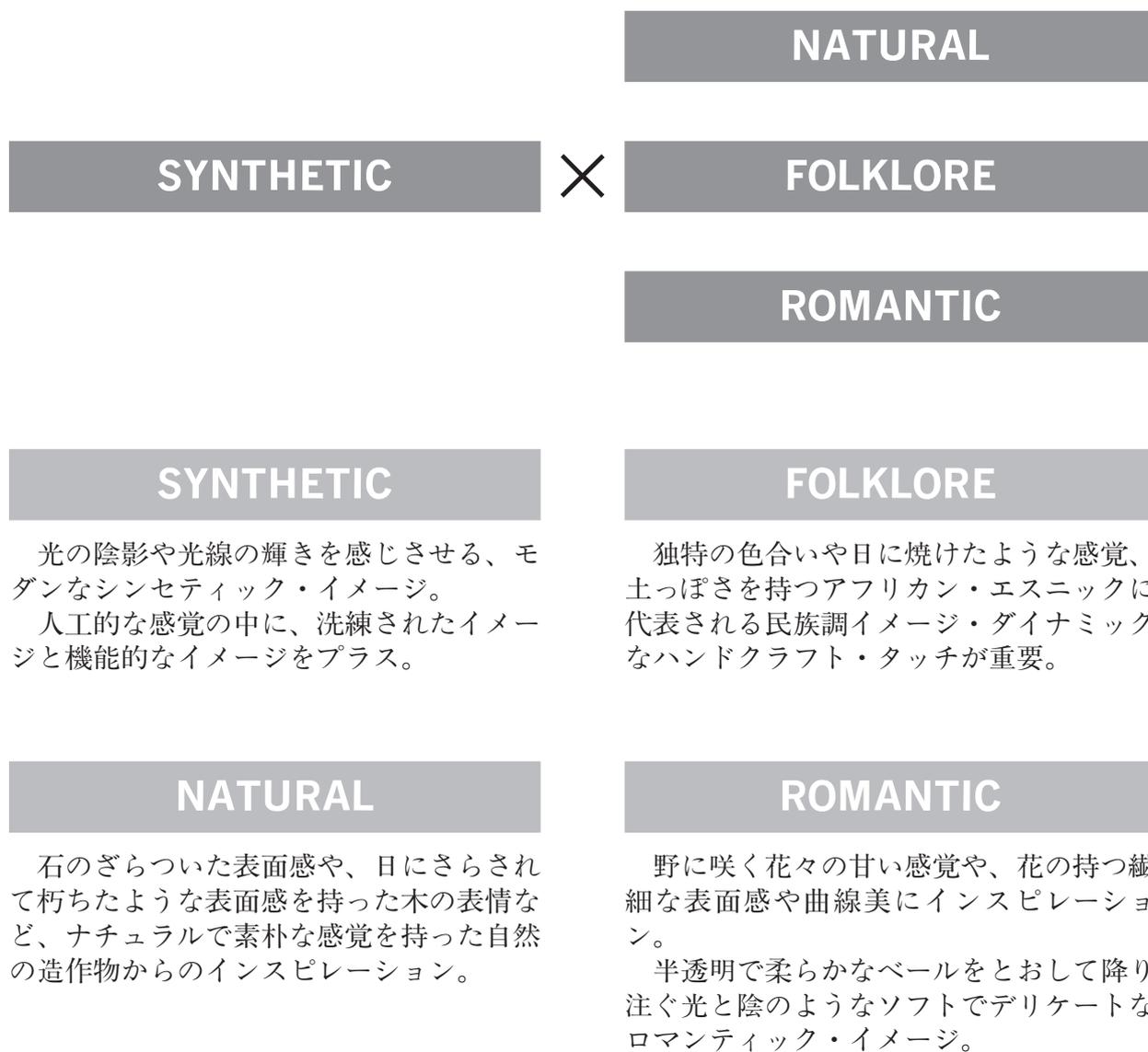
## 2. 2003S/S インスピレーション

2003年春夏に向けて、ファッションイメージはよりスポーティーな傾向、そしてアバンギャルドの感覚を強めていくと予測されるが、今シーズンのファッション全般に影響する要素としては、『ナチュラル』と『シンセティック』が挙げられる。

そして、今シーズンのファッションのもうひとつのキーポイントとして重要なのが、これら2つの要素の複合である。ナチュ

ラルな要素とシンセティックな要素が組み合わせられ、融合し、ときには対比されて、2003年春夏シーズンの新しいファッションを形成していく。

なお、複合要素のひとつの「ナチュラル」は、ファッション・インスピレーションとしては、自然のイメージの『ナチュラル』、ハンドクラフト・イメージの『フォークロア』、そして、女性らしく優しいイメージの『ロマンティック』に細分される。



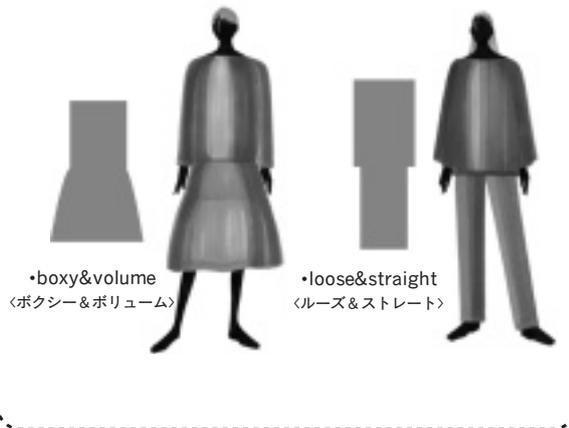
### 3. 2003S/S スタイリング

#### 【シルエット】

2003年春夏シーズンは、2002年春夏に主流となる、量感のあるゆったりとした『ボリュームシルエット』と、新たに浮上するモダンでスポーティーな身体にフィットした『タイニーシルエット』の相反するシルエットが共存し、さまざまなバランスで展開する。

#### ●2002S/Sシルエット

全体的に程よいゆとりを持ったボリュームシルエットが主流。



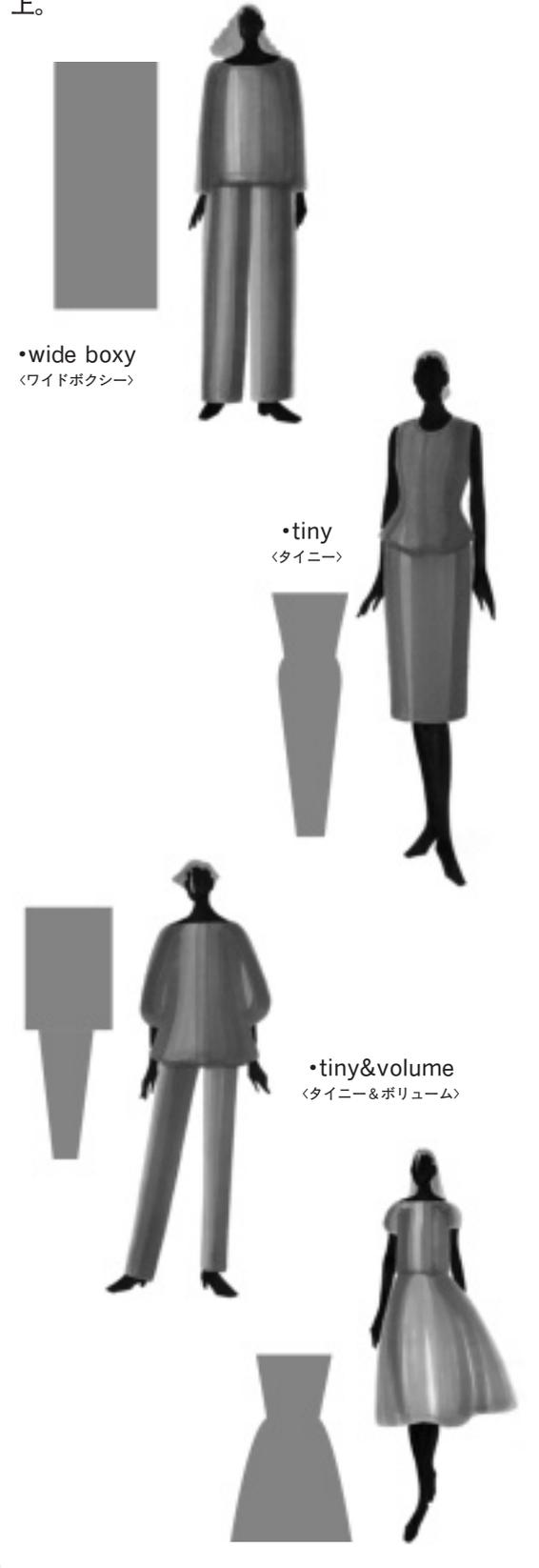
#### 【ウェアリング】

2003年春夏のウェアリングでは、2002年春夏から浮上するレイヤードスタイルが拡大。イメージの異なるミスマッチレイヤードも出現。『優しさ』と『逞しさ』のミックス表現が多彩なスタイリングで展開される。

- ・ コンフォートなスタイル、カジュアルなスタイルを主流に、『ロマンティック』『スポーティ』『フォークロア』『ナチュラル』をキーワードに多彩なスタイリングが展開。
- ・ 2002年春夏に浮上する単品レイヤードスタイルが継続し、さらに拡大傾向にあり、さまざまなアイテムの多彩なプロポーションやデザインバリエーションが見られる。
- ・ トップスだけでなく、ボトムレイヤードも登場。

#### ●2003S/Sシルエット

2002S/Sの『ボリュームシルエット』は継続するが、同時に身体にフィットしたコンパクトな『タイニーシルエット』の復活が新たな方向として浮上。

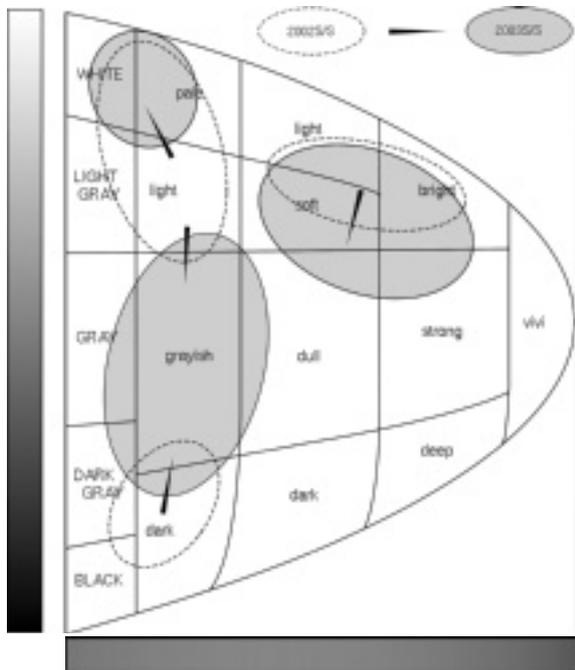


#### 4. 2003S/S カラー

2002年春夏から始まったカラーのソフト化、低彩度化の動きはさらに進行し、2003年春夏にはさらに明るめのグレイッシュカラーやペールカラーなどのソフトな印象の低彩度色が増加する。

ただし、スポーティーなイメージの表現も重視されるため、クリアーで色味のはっきりしたカラーも求められるが、従来のブライトカラーと比べると白っぽく褪せた感じのブライトカラーとなっており、これが今シーズンの特徴でもある。

#### トーン傾向



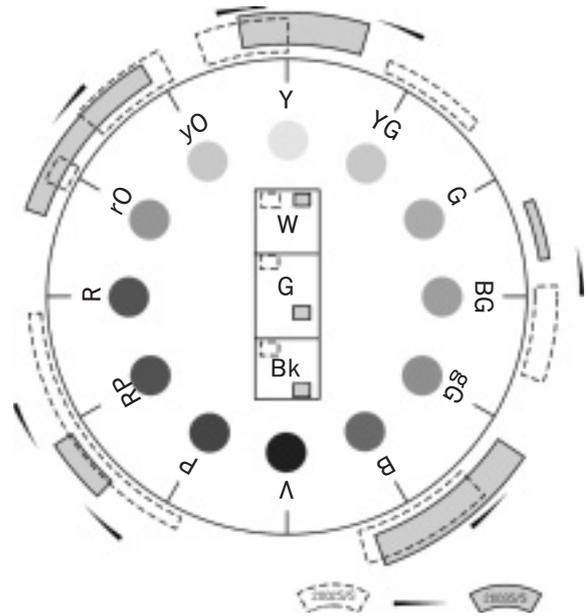
2002年春夏のカラーには明るいトーンのカラーと暗いトーンのカラーへの分化傾向が見られる中、ペール、ライト、ブライトトーンなどの明るいトーンのカラーが主流となっていた。

これに対して2003年春夏に向けては中間色化の動きが見られる。

この結果2003年春夏のカラーにはグレイッシュ、ダル、ストロング等の中明度トーンのカラーが出現している。

また、今シーズンのカラーは先シーズン同様ビビッドトーンの高彩度色が無く、中、低彩度トーンのカラーが中心になっているが、先シーズンよりも低彩度色が少し増加する傾向が見られる。

#### 色相傾向



2002年春夏のカラーは、オレンジ、イエロー系色相のカラーとブルー系色相のカラーの補色関係の色相での二極化が特徴だった。

これに対して、2003年春夏に向かっては寒色化の動きが見られる。

その結果、2003年春夏のカラーパレットでは、イエロー～黄緑にかけての色相のカラー群とブルー～グリーン～ニッシュブルーにかけての色相のカラー群が2大主流グループとなっている。

#### カラーパレット

##### Cretaceous クリテイサス

ドバー海峡に面した白亜の断崖のように、白く輝くようなオフ・ホワイトのバリエーションとピュアホワイトから成るグループ。

##### Luminary ルミナリー

人工照明のカラフルな明るさやプラスチックの人工的な色調のようなブライトカラーのグループ。

##### Ethnology エスノロジー

フォークロア調のハンドクラフトイメージの表現に欠かせないナチュラルな深みのある中間色のグループ。

※P28にて、トーン傾向・色相傾向をカラーで掲載。

## Shading シェーディング

絵画の中の日影になった地面の陰影の色調を思わせるような、グレイッシュであり色味を感じないカラーのグループ。

## Ebony エボニー

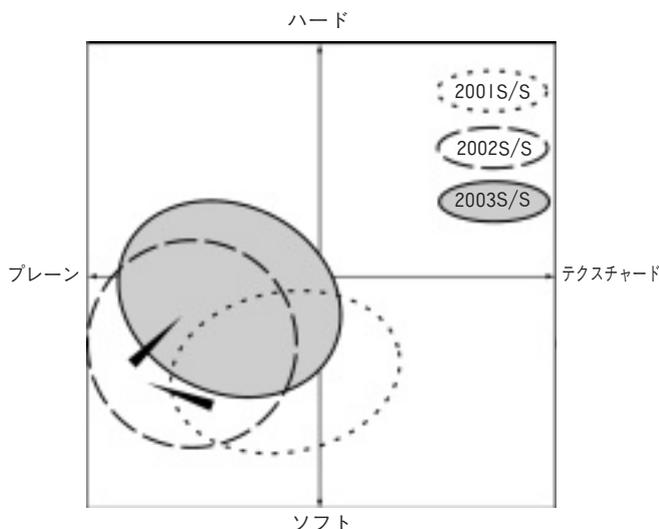
黒檀の家具の漆黒の木理のようなブラックとオフブラックのバリエーションから成るグループ。

## 5. 2003S/S ファブリック

### 全体傾向

2003年春夏には、マテリアルとしては合繊素材とリネン調のナチュラル素材が共存するシーズンとなる。ドライタッチでハリコシ感のあるものが重視され、かなりタフな素材も出てくるが、全体としては薄手のものが主流。また、イレギュラーな凹凸効果のあるテクスチャーが重視される。

### ■2001S/S～2003S/Sの素材傾向の変遷



●2001S/S：ナチュラルなムードを求める動きにより、コットン、リネン、植物繊維タイプの、ラフ感のある表面を持つ素材が注目される。

●2002S/S：上品なカジュアルムードを求める傾向が高まるため、上質なウーステッドやコットン素材、そしてシルクが重視される。また、素材表面のプレーン化が進行、マニッシュ感覚のややハリのある素材も復活する。

●2003S/S：合繊素材とリネンタイプを中心とした天然素材の両方向が共存する。風合的にはハリコシがあってドライなタッチのものが主流。表面感はややざらつきのあるものやイレギュラーな凹凸効果のあるものが重視される。

### ■マテリアル：人工マテリアルとオーガニックマテリアルの2極共存状態となる。

1. ナイロン、ポリエステルなどの合繊マテリアルの重要性が高まり、従来からの機能性を持った素材にプラスして、新機能を付加した合繊素材が求められる。
2. 天然素材では、微妙なラフ感によるオーガニックな感覚の強いリネンタイプのマテリアルが重視される。
3. 人工とマテリアルとオーガニックマテリアルの共存が今シーズンの特徴である。使われ方としてはそれぞれ単独のマテリアルでの表現もあるが、むしろポリエステル・リネン、コットン・ナイロンなど、この2方向のマテリアルをミックスする表現が注目される。

### ■テクスチャー：プレーン化の動きがピークアウトし、ラフな表面感を持つものが中心となる。

1. プレーンな表面のベーシックな素材は継続するが、スムーズ過ぎず、デリケートなラフ感やざらつき感、そして、繊細な異色効果のあるものが増加する。
2. リネン調素材への注目により、オーガニックなラフ感やイレギュラーな凹凸感のあるものの重要性が高まる。また、中古風加工によるラフ感の表現も注目される。
3. マテリアル傾向と同様に、相反する表面感のミックスが重視される。

### ■風合い・タッチ：ハリコシ感があり、ドライタッチの素材が主流となる。

1. ハリ感の全くない素材は姿を消し、ハリ感、コシ感のある素材が主流となる。ただし、ハードタッチの素材が多いわけではない。リネン調のハリコシ感を持つが、薄手で適度のしなやかさのあるもの、ハイカウントの合繊糸使用でドレープ感はあるが、ポリウレタン混でプリッとした反発感のある素材などが中心になる。

2.素材のタッチとしては、ドライでざらついた感覚が重視される。それは、リネン調のマテリアル使いによるドライタッチや、微妙なイレギュラーヤーン使いによるざらついたタッチの表現が中心になる。

### FABRIC DIRECTION 1 Linen Look

イレギュラーヤーン使いやカス残し等で、リネン調のラフ感、ナチュラルな素材感を表現した素材のグループ。

コットン/リネン混を中心とした、複合マテリアルの素材が主流。リネン調のかさついたドライでハリのある風合いが重要。

#### ラフ・シャーティング



ジャージーも含めた薄手のシャーティングタイプ素材で、布帛は麻混シーチングなどの平織り組織のものが中心。褪せたような効果、かすれたような効果のある

チェック、ストライプ柄、そしてイカット調やアフリカンパターンなどのエスニック感覚のプリント柄が重要。

#### タフ&ラフ



キャンバス、デニムなどのワーク調のタフな素材感でラフな表面感の素材。

さらに、合繊複合、ポリウレタンミックス、コーティングなどの後加工などに

よって、外観はナチュラルだが、撥水性、ストレッチ性などの機能性を持つものが重視される。

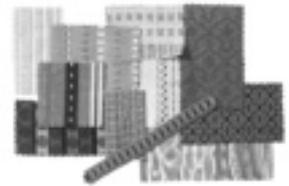
シャングレーや糸走りの出た無地ライク素材、そして、デッキチェア、アフリカンストライプ柄のものが展開する。

#### ハンドクラフト・ジャカード

太番手糸使いで厚みがある、タピストリーやラグのようなインテリアクロス調の素材。

ジャカード柄のあるものが中心で、アフリ

カの民族服のような鮮やかなカラー使いのものと、ゴブランデニム、刺し子調の太糸ステッチワークのストライプやボーダー柄素材などのインディゴカラーのもの2方向。



### FABRIC DIRECTION 2

#### Rough Transparent

リネン調のラフな表面感を持ち、ドライタッチでハリ感のある風合いで、同時に薄手で透け感のある素材のグループ。

微妙なイレギュラー感のある糸をミックスして、細かいラフな凹凸効果をトランスペアレントなベースの上に表現。

#### プレーン・トランスペアレント

ボイル、ガーゼなどの平織り組織の比較的プレーンな表面感の素材。シャングレー、異種マテリアル糸の複合、シック&シンヤーン使いなどによる、糸走りのある異色効果が重要。2重、3重素材でのカラーの重ね効果を出した素材も注目される。



#### トランスペアレント&オパーク

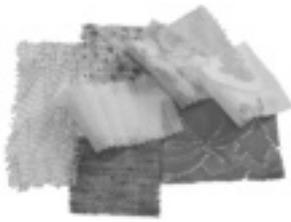
太番手糸と細番手糸の配列によって、透け感のあるストライプ、チェックなどの柄効果を出した素材。モノフィラ使用のボイルの、セ

ミの羽のようなハリ感と透明感を併せ持った素材に注目。糸の太さのテンションの違いによる軽いしぼ効果や、空羽組織による透け感などの微妙な表面効果も使われる。



※P28にて「ラフ・シャーティング」「プレーン・トランスペアレント」をカラーで掲載。

### ラフ・メッシュ



からみ織りやラッセルなどでネット状の透け感を表現し、しかも、甘撚りの太番手糸やイレギュラーヤーンによりラフな表情を出した素材。

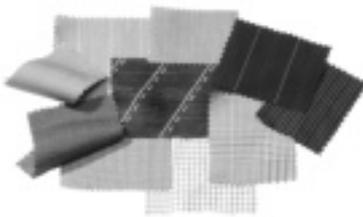
この素材群はあまりナチュラルな色使いは避け、ブライトカラー使いやオンプリントなどで土臭さのない表現にすることがポイント。

### FABRIC DIRECTION 3 Wool Look

メンズスーティング素材に見られるような、マニッシュなサマーウール調ファブリックのグループ。

ウール100%での表現ではなく、コットンやコットン/ウール、さらには化合繊複合素材で表現される。また、軽くて、ドライタッチ、そしてストレッチ性のあることが重要。

### ウーステッド・ルック

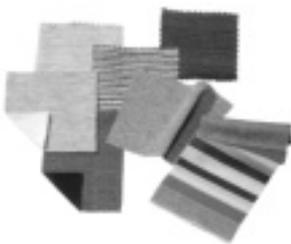


プレーンなウーステッドタイプのコンパクトな織物。

ウインドペーン、ペンシルストライプ、グレ

ンチェックなどのメンズ調のパターン表現が重要。また、ヘアライン調のシネ効果が欠かせない。

### シネ・ジャージー



トップ染めの糸、細かい撚りの空糸によるシネ効果を全面またはストライプ柄の一部に使った、プレーンなジャージー素材。

ソフトなドレープ感のあるものから、コンパクトな組織でドライタッチのものまで幅広い展開。ダブルフェイスのジャージーも使われる。

### サテン・ジャカード

サテン組織のジャカード織物。

ジオメトリックなモチーフを単色で表現した素材のグループなので、シネ調のミックスカラー表現は使われない。



### FABRIC DIRECTION 4

#### Modern Romantic

化合繊のシンセティックなムードのマテリアルをベースに、ロマンティックなイメージの装飾効果を表現した素材。

薄手でシアーな素材感が重要。

ロマンティックな雰囲気と人工的なムードの融合が新鮮さを演出している。

### ファンシー・レリーフ

しわ加工、しぼ効果、サッカー調表現、リップル加工など、さまざまなテクニックでイレギュラーでファンシーな凹凸効果を表現した素材。

シンセティックな感覚のシアーな素材感がベースになっている。



### シャドー・デコレーション

オパール、フロッキー、レーザーカット、エンブroidリー、カットボイルなどによって、透明/不透明を組み合わせた柄を表現した素材。

単色無地とバイカラー使いのカラーリングで、影絵のような柄効果が演出されている。



### ランジェリー・レース

豪華なランジェリーに使われているような、ファンシーで装飾感の強いレース素材。パターンは立体感のある花柄が中心で、色

※P28にて、「ウーステッド・ルック」「ファンシー・レリーフ」をカラーで掲載。



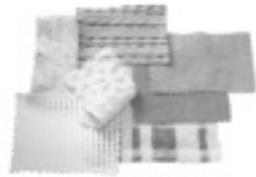
使いやオンプリント、シルキーな光沢ヤーンを加えるなどのテクニックでリッチでエレガントなムードを表現することが求められる。

#### FABRIC DIRECTION 5 Mossy Cloth

パイル、カットパイル、ピーチフェイス起毛などさまざまなけば感で、苔におおわれたようなイメージの表面感を表現した織物やニット素材。

しなやかな風合いで柔らかい感触を持つものが主流。

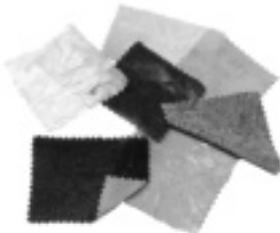
##### テリークロス



薄手のパイルクロスやパイル表面のレーシーニットなどのバリエーション。無地物から微妙な異色効果や柄効果を表現した

もの、そしてパイルジャカードなどのファンシークロスまで。

##### ベルベッティ



プレーンベルベット、エンボスベルベット、ニットベロア、オパールベロア、フロッキーメッシュなどのベルベット素材のバリエーション。

クラッシュ加工、エンボス加工、オパール、フロッキーなどによる多彩な表面効果のバリエーションが展開する。

##### スウェード



薄手でしなやかなスウェードのバリエーション。ウオッシュ加工、エンボス加工。パンチングなどで表面に変化を付けたものが注目される。

#### FABRIC DIRECTION 6

##### Feminine Synthetic

ナイロン、ポリエステルなどのケミカルな感覚の合繊素材を、カラーやパターンなどでフェミニンな感覚に表現したファブリック・グループ。

吸湿速乾性、透湿防水性など、さまざまな機能性を持った素材が重視される。

##### パウダリー・サーフェイス

しらっちゃけたようなパウダリーな表面感のシンセティック素材。

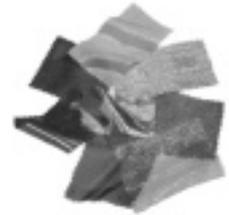
セカンドスキントタイプの薄手のものから、ラバータッチの中肉素材までのバリエーションがある。ポリウレタン高率混素材やポリエステル・ストレッチヤーン使用の高密度素材によって、ゴムまりのような反発性とツーウェイ・ストレッチ性を持つことが基本となる。



##### パーリー・グロッシー

真珠貝の内部の虹のような光沢効果、ナクレ効果を持ったファブリックのバリエーション。

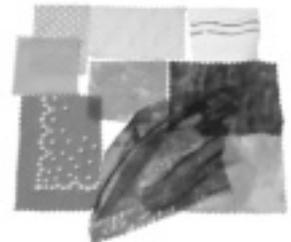
このような光沢効果は、フィルムヤーン使いやコーティング加工などで表現される。オーガンジー、タフタ、トリコットなど、ややハリ感のある薄手素材が中心。



##### ケミカル・シアー

チュール、シフォン、メッシュ、ボイルなどのトランスペアレントな組織の合繊素材。

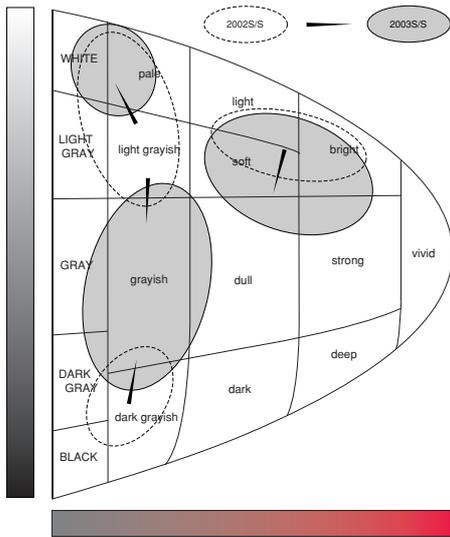
フロッキー、オンプリント、ブリストーなどによる、立体感を感じる視覚効果のあるものが重要。



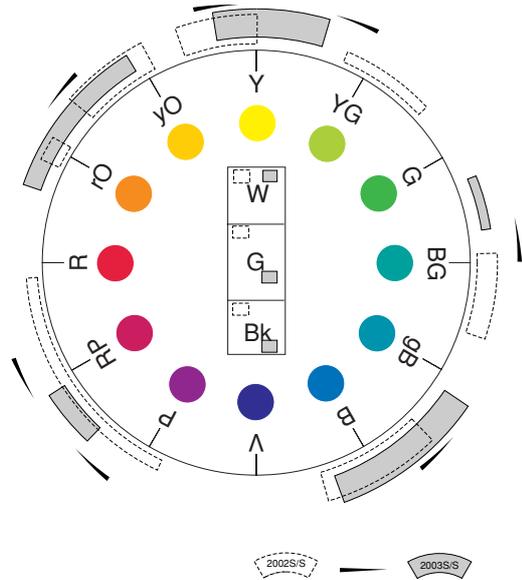
※P28にて、「テリークロス」「パウダリー・サーフェイス」をカラーで掲載。

## 2003 S/Sカラー

### トーン傾向



### 色相傾向



## 2003 S/Sファブリック

### ■Linen look : ラフ・シャーティング



### ■Modern Romantic : ファンシー・レルーフ



### ■Rough Transparent : プレーン・トランスペアレント



### ■Mossy Cloth : テリークロス



### ■Wood Look : ウーステッド・ルック



### ■Feminine Synthetic : パウダリー・サーフェイス

